

「どうしたらいいんですか」～兵庫県人権教育副読本「きらめき」から～

「どうしたらいいんですか」

資料を読んで、どのようなことを考えましたか？

最近、みんな平等、差別しない等という言葉をよく耳にするけれど、その本人が自分は周りとおなじと思って生活してるのに、それを「助ける」と思って特別扱いしてしまうのは、少し違うと思う。勝手に相手が困っているだろうと決めつけるのと、相手の要望をきいたうえで、それに応じてくれるのでは、私でも後者の方がうれしい、ありがたい。人の役にたきたいと思うのは、誰でもそうだし、とても良いことだけれど、その時にやり方をまちがえてしまったら、せいかくのその思いが残念な人たちに終わってしまう。でも、私だったら、声をかけることも出来ないと思う。勝手にこうしたら良いだろうと決めつけるのは良くないので、まずはそういう人達の声をきくことが大切だし、機会があれば、知りたいと思う。

3-1 生徒分

- ・自分が「いいことをしている」という勝手な判断が、相手を困らせる原因をつくっていることもある。「どうしたらいいんですか」と、自分の気持ちを聞いてくれるのは助かると思うし、同じ立場となって考えてることができている証拠だと思います。
- ・誰にも「人を助けてあげたい」という優しさは大事にしたい。その中で相手がどう思うかを考えられる人が本当の思いやりだと思う。
- ・目が見えない人は特別な人ではなく、私と同じ気持ちがあることを忘れてはいけないと思います。また「どうしたらいいんですか」と聞ける人はなかなかいないと思います。私は、相手の気持ちを考えて、当たり前のように助け合っていこうと思います。

家族で道徳《生徒意見》

「どうしたらいいんですか」～兵庫県人権教育副読本「きらめき」から～

「どうしたらいいんですか」

資料を読んで、どのようなことを考えましたか？

盲目の人だからと言っただけで困るのではなく、親切に
すると逆にその人が困るということもあるんだなと
思いました。これは、こういう盲目の人 関係なく
共通することだと思っています。例えば、数学とかたまたま
がんばってといてる時に 周りの子とかが 答えを教えてく
たりすることがある。こういう時でも 答えを教えるのはよく
解き方を教えてくれるは、うまい、優しい、士だと思う。
でも、こういう答えとかを教えてくるときは 自分で解きたかった
んだと思っただけで困るかもしれない。だから、困っている人がいたら
自然に声をかけたりしていいと思います。でもいきなり
盲目の人とかに声をかけるのはおそろしいから 周りにいる人に
聞いてとかからいじめていいと思います。

生まれつき障害を持って生きた人や事故などで障害を持って生活をする人も、私
達と同じように人間だ。ということを忘れてはいけないと思いました。この話を読んで
一種の差別に近いなと思いました。ハンディを背負って生きている、そういう風
に感じました。とはいえ、不自由である人をそのままだにしておくとはいけません。
何か違うか。それは、相手の気持ち、相手の求める言葉を見つめる気配りだと思います。
障害を持つ人達は影ながら口には出さず、そういう気持ちをずっと持っているんだと
思います。何もなしに私達が理解を示すことは当然出来ません。だから今回の格好良
い人みんなに聞くことが大切なんだと思います。さ、今回でめいめいの見えな
い人でも、もし自分かその人と同じ立場になつて、町を歩くと必ず「頑張って、と声をかけら
れたら、普通であることを否定されている気分になりませんか。1人で普通ではないかとホッ
とそういう心ない言葉と言われるのはヤバイと思います。「頑張って、と声をかけた人は自分
は良いことを言っている」と思っていると思います。でも実際は相手に傷をつけていました。一方的では
ないんですよ。まずは相手のことを知る、それがどうしたらいいんですか、と声をかけることが大事ですね。

家族で道徳《生徒意見》

「どうしたらいいんですか」～兵庫県人権教育副読本「きらめき」から～

「どうしたらいいんですか」

資料を読んで、どのようなことを考えましたか？

私はこの資料を読んで、目の見えないうち暗の中で、自分のいる場所が分からない時に「大丈夫ですか？」と聞いてくれる人とふざけて自分のことを悪く言う人の表情は見えなくても相手の心が見えてくると感じました。目が見えない人は怖くて不安な人もいます。思いやりが見えている立場の人からどんなことができるのか考える必要があると思いました。

この資料をよんだ男子は、目が見えないし、がんばってねといわれて、みんな同じ扱いされて、少し、ばかりにしているように思いました。でも助けられる人もいるし、きいてくれる人もいて、どちらにしても、気にかけられる人がすぐに声をかけられるというのは、すごくいいなと思いました。

少しの行動でも、相手を傷つけることもあるし、逆にうれしいこともいうべきではないやら、どうにか声をかけられる人は、気をつけて接したいと思いました。